

あま市民病院を

より知っていただくために...

胆石症について

外科



胆石症とは、症状にかかわらず胆石があるものを言います。約10人に一人の割合で胆石があるとされています。

胆石は胆嚢や胆管に胆汁組成の異常(コレステロール等の増加)、胆汁のうっ帯や感染などが原因でできます。その多くは胆嚢にできます。

胆汁は肝臓で作られ十二指腸に送られる消化液です。胆嚢はその途中にあり、胆汁を一時的にためておくところです。

患者背景として、50〜60歳代、女性、肥満、妊娠回数が増加が危険因子としてあります。脂肪分の多い食事の後に上腹部痛が認められた場合は、胆石症が疑われます。

腹痛等の症状や胆嚢炎等の合併症のある胆石症の方には、胆嚢摘出術が勧められます。無症状であっても将来症状が出る方は約20%程度見られます。また、無症状でも胆嚢萎縮、胆石充満等で胆嚢内腔の評価が

困難な場合は、手術をお勧めします。

現在では、腹腔鏡下胆嚢摘出術が標準治療となっていて、お腹に数箇所の小孔を開け、胆嚢を摘出します。

術後の回復も早く、数日で退院できます。ただし、癒着が強い場合や肝硬変等があり出血しやすい場合などでは開腹術へ移行する場合があります。

胆石症の治療については、さらに詳しくお知りになりたい場合は、内科または外科の消化器専門医にご相談ください。

ポリオワクチン追加接種

昭和50年から52年に生まれた方について、ポリオの免疫を保有している方の割合が他の年齢層に比べて低いことが厚生労働省の調査で分かっています。

下記に該当する方は、再度ポリオワクチンの接種を受けることをお勧めします。接種可能病院などはお問い合わせください。(※接種は有料)

- ①ポリオ常在国に渡航される時
- ②お子さんがポリオワクチン接種を受けるとき

問い合わせ先

保健センター
健康館すこやかおおはる
☎(444) 2714



問い合わせ先

あま市民病院
〒490-1111
あま市甚目寺山之浦
148番地
・問い合わせ時間
午前8時30分
〜午後5時15分
※土日・祝日を除く
☎(444) 0050
FAX(444) 0064
HP <http://www.city-ama-hosp.jp/>

歯の健康講座

Dental Health
海部歯科医師会

『初めて入れ歯を入れる方へ』

初めての入れ歯は今まで口の中に無かったものですから、食事をするときや会話をするときには違和感があります。しかし、これは一時的なものですので、入れ歯を外さないよう辛抱してください。入れ歯に慣れれば、食事や会話もスムーズにできるようになります。

まず、入れ歯は入れたから終わりというわけではないのです。口の中の状態はそれぞれ違っていますので、入れ歯の調整方法、調整回数も人によつて異なります。数回の調整でしっくりくる方もいれば、長期間の調整が必要な方もいるでしょう。

始めのうちには、固い物や大きい物などを無理に食べようとせずに柔らかい物や小さく切った物を少しずつゆつくりとかんでください。大切なのは慣れと練習です。

入れ歯は毎食後、外して必ず洗ってください。入れ歯をしていると歯も汚れやすくなります。自分の歯と歯ぐきも毎食後、丁寧に磨きましょう。

入れ歯を付けた後は、入れ歯が強く当たって痛みが出たり、かみ合わせが上手いれない、緩くて外れしてしまう、しゃべりにくい、などの問題が起きることがあります。

そういった部分を調整して快適に入れ歯を使い、よつにするためには、何回かの調整が必要になります。

入れ歯は自分の歯を常に清潔に保つことは、むし歯や歯周病の予防になり、結果として入れ歯をより長く気持ち良く使うことができるのです。

入れ歯と自分の歯を常に清潔に保つことは、むし歯や歯周病の予防になり、結果として入れ歯をより長く気持ち良く使うことができるのです。

